

# 東海経済レポート

## （2016 年 9 月）

～総じて緩やかな回復基調ながら、一部に依然弱さが残存～

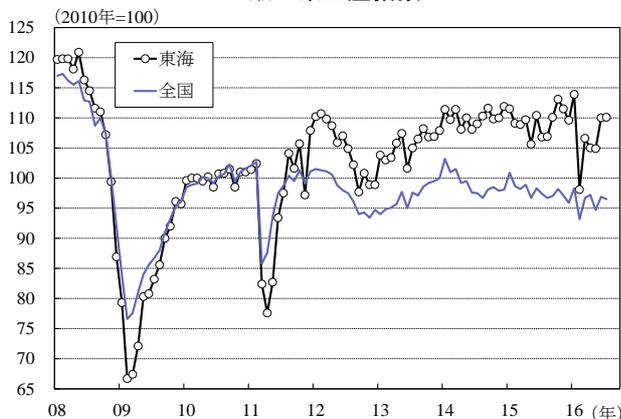
### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は、総じて緩やかな回復基調にある。ただ、一部に足踏みが見られるなど、引き続き弱さも残る。企業部門は、主力の輸送機械を中心とした生産増加や 4-6 月期の設備投資の持ち直し等、回復の動きが見られる。輸出は円高もあり、足踏みが続く。家計部門は一部に弱さが残るが、引き締まった雇用環境もあり、一定の底堅さを維持している。
- ▶ 生産は、7 月の鉱工業生産指数が前月比+0.1%と 2 ヶ月連続で上昇。業種別では、生産用機械や電気機械がマイナスに転じたものの、輸送機械が同+0.9%と 3 ヶ月連続で増加したほか、電子部品・デバイスも 2 ヶ月連続のプラスとなった。主力の輸送機械が 2 月以降の相次ぐ一過性要因（熊本地震による資産停止等）での生産停止分の挽回生産を続けており、生産全体を牽引している。
  - ▶ 設備投資は、大企業の 4-6 月期の投資額で前年比+15.6%と 7 四半期連続で増加。1-3 月期に同+0.1%と伸び率が縮小していたものの、2 四半期ぶりに 2 桁増に回帰した。ただ、先行指標とされる金属工作機械の 7 月の国内受注額は同▲19.0%と 10 ヶ月連続で減少しており、先行きの持続力には不安も残る。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、8 月に前月比+3.0%と 2 ヶ月ぶりに増加。ただ、昨年と比べると金額水準は低調。相手国別では、米国向けが前月比▲2.7%、中国向けが同▲4.6%と揃って 2 ヶ月連続で減少したものの、EU 向け、中東向けが増加した。品目別では、工作機械を除く各品目が増加。
  - ▶ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。7 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.62 倍と 2 ヶ月ぶり、三重県が 1.48 倍と 4 ヶ月連続で上昇した。一方、岐阜県は 1.71 倍と、2 ヶ月連続で低下。水準としては、3 県ともリーマン・ショック後の最高レベルで推移中。
  - ▶ 個人消費は、7 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+1.0%と、2 ヶ月連続で増加。百貨店は 7 ヶ月連続の減少となったものの、コンビニとスーパーの販売額が前年比増加で推移し、全体を牽引。一方、7 月の新車販売台数は同+0.5%と、3 ヶ月ぶりに増加。ただ、軽自動車販売の前年割れは継続中。
  - ▶ 住宅着工は、7 月に年率換算で 8.4 万戸、前月比+0.4%。利用関係別では、持家が減少した一方、貸家、分譲が揃って 2 ヶ月ぶりにプラス転化。

### 【生産①】

7月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%とほぼ横ばいで推移。緩やかながら持ち直しの動きは継続。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、ウェイトの大きい輸送機械が前月比+0.9%と3ヵ月連続で増加し、全体を牽引。

業種別の鉱工業生産(東海)

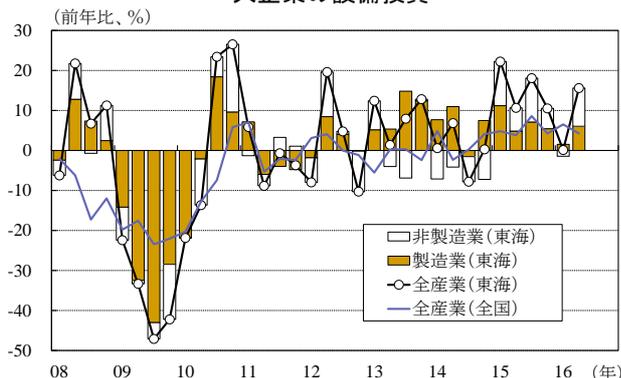


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準)。中部経済産業局算出  
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は、前年比+15.6%とプラス幅が拡大。前年比増加は7四半期連続。

大企業の設備投資

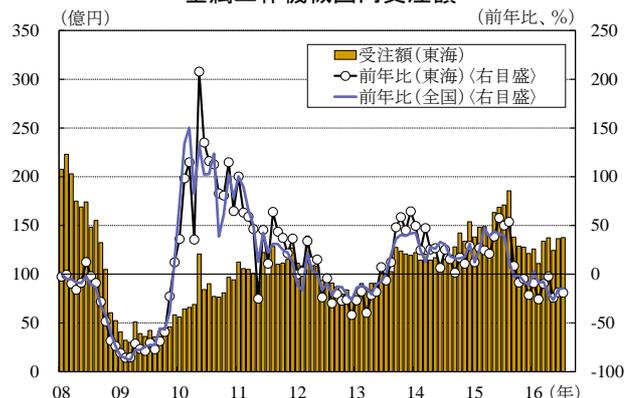


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は7月に前年比▲19.0%と、10ヵ月連続でマイナス。

金属工作機械国内受注額

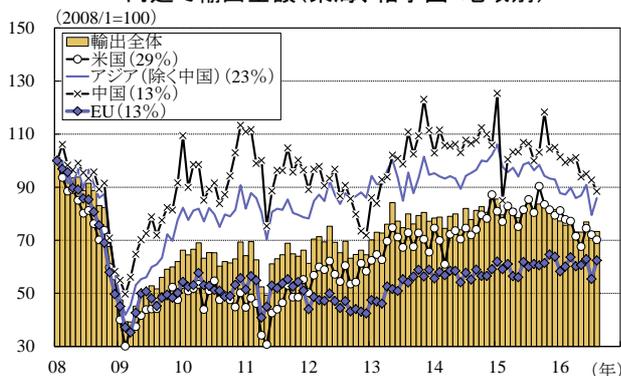


(注)1.東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
2.『受注額』は当室にて季節調整。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

8月の輸出額(円ベース)は、前月比+3.0%と2ヵ月ぶりにプラス転化。ただ輸出額の水準は低調。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

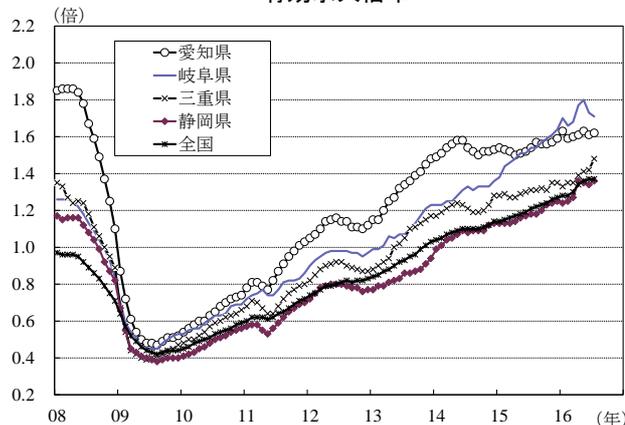


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.当室にて季節調整。  
3.( )内の数値は2015年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

7月の有効求人倍率は愛知県で1.62倍、三重県は1.48倍と上昇した一方、岐阜県は1.71倍と低下。

有効求人倍率

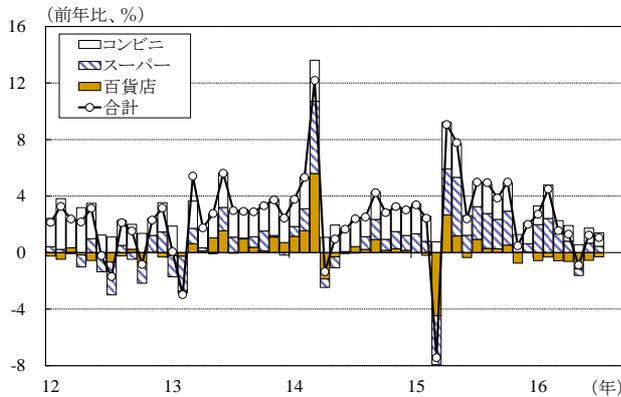


(注)『有効求人倍率』は、「有効求職者数」を「有効求職者数」で除したものの。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

7月の小売主要3業態の販売は前年比+1.0%と2ヵ月連続でプラス。

小売主要3業態の販売動向(中部)

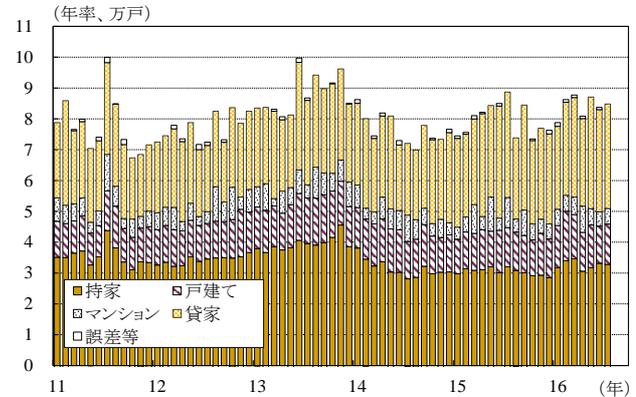


(注)1.『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

7月の住宅着工戸数は年率換算で8.4万戸、前月比+0.4%。貸家と分譲が増加。

新設住宅着工戸数(東海)

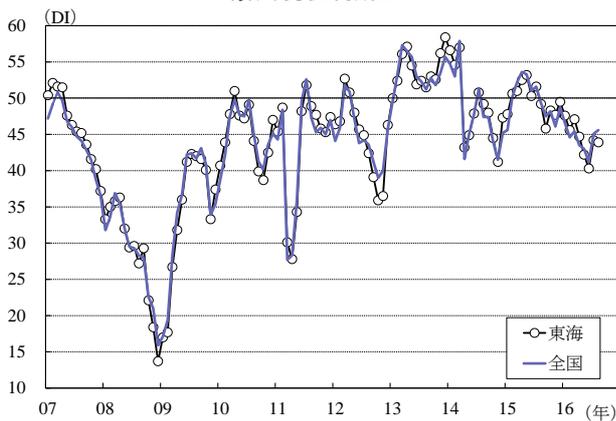


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

8月の景気現状判断DIは43.9に低下し、13ヵ月連続で50.0を下回った。全国は2ヵ月連続で上昇。

景気現状判断DI

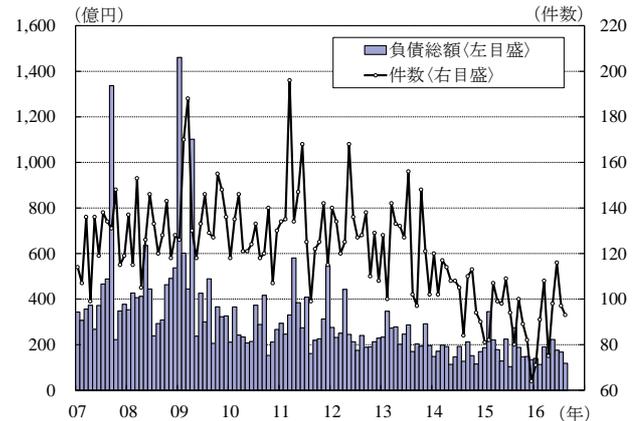


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

8月の企業倒産件数は93件と、前年比+16.3%と3ヵ月連続で増加。負債総額は同▲56.8%の減少。

企業倒産(東海)

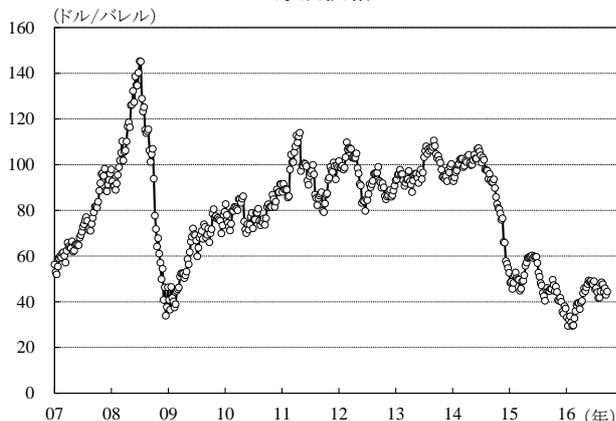


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、在庫減少等を受け、需給悪化の警戒感が後退。直近では1バレル46ドル前後に上昇。

原油価格

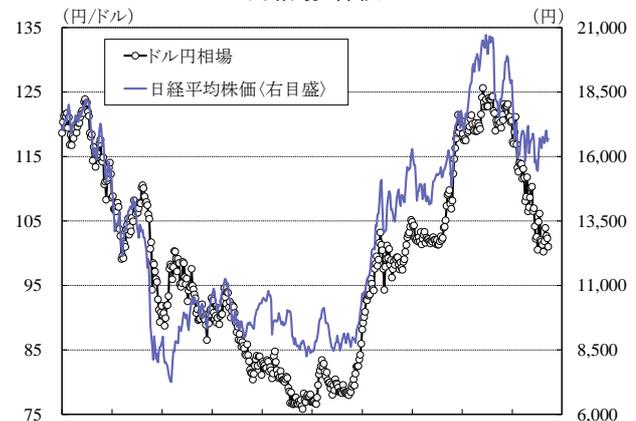


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

日米金融当局の政策決定会合を受け、円相場はやや円高に。株価は政策の不透明感後退から一旦上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。